

2022 年度  
名古屋大学宇宙地球環境研究所  
「国際共同研究」公募要項

## 1. 公募事項

名古屋大学宇宙地球環境研究所では、宇宙太陽地球システムの包括的研究を行い、太陽活動による地球環境変動、宇宙天気予測、極端気象をはじめとする地球環境と宇宙利用の課題を解決するための国際共同研究を推進しています。本国際共同研究は、これらの研究事業の一環として、日本国内の大学及び研究機関に所属する研究者と本研究所の教員が協力して国際共同研究を推進・展開し、関連する SCOSTEP、Future Earth、国連などの国際共同研究プログラムとも協力しながら、宇宙地球環境に関する研究を発展させるものです。このため、研究代表者は、日本国内の大学や研究機関に所属する方であることを要件とします。また、提案される国際共同研究は、研究体制の中に外国機関に所属する研究者を含んでいるものとします。

なお、観測データのデータベース構築に関する共同研究は、本研究所の「データベース作成共同研究」へご応募ください。

## 2. 申請資格者

- ①日本国内の国・公・私立大学及び国・公立研究機関に所属している研究者（学生は含まない）、またはこれらに準ずる研究者
- ②本研究所長が特に適当と認めた者

## 3. 申請方法

- ①本共同研究を希望する場合は、申請時に所属機関の内諾を得た上で、研究課題、研究内容、経費等について事前に本研究所の担当教員（特任教員を除く常勤の教員）と十分な打ち合わせをしてください。また、海外を研究の拠点とする研究者が一名以上、研究体制に入っている必要があります。なお、経費は、共同研究を遂行するために必要な国内、海外の旅費や物件費（「8. 所要経費」参照）を計上してください。
- ②共同研究の申請に当たっては、本研究所共同利用・共同研究のサイト (<https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/co-re-application.html>) でログイン ID の取得が必要です。過去にログイン ID を取得された方は、同じ ID で今年度もログインが可能です。新規に申請される方は、ログイン ID 申請後、パスワード発行の e-mail が届きます（この e-mail のスパムメールへの振り分けにご注意ください）。取得した ID でログインした後、「国際共同研究」欄から申請に必要な事項の記入を行った後に、申請締め切り日までに申請手続きを完了させてください。
- ③継続申請の研究課題については、申請時に該当欄に本年度までの研究の進捗状況を入力してください。
- ④第4期中期計画期間（2022-2027年度）においては、共同利用・共同研究の多様化と新たな展開を目指し、申請者による提案型の「融合研究」「萌芽研究」を積極的に支援します。宇宙科学と地球科学、あるいは他の分野との融合、新しい分野の開拓を通して、これまで実現できなかった課題（グランド・チャレンジ）に挑戦する提案を歓迎します。これらの「融合研究」「萌芽研究」の申請課題は審査を通して優先的に採択され、配分額の割合が高くなる可能性があります。この提案を行う場合には、申請書の該当欄に番号（「融合研究」の場合は1、「萌芽研究」の場合は2）を入力し、具体的な内容を記載してください。
- ⑤研究代表者としての「国際共同研究」カテゴリでの申請課題は、**1人1件**とします。ただし、④の「融合研究」「萌芽研究」の提案を行う場合は、合わせて2件までの申請が可能です。また、「国際共同研究」と「ISEE International Joint Research Program」に、研究代表者として重複して申請することはできませんが、それ以外のカテゴリ（「研究会集」など）には同時に申請することが可能です。

#### 4. 研究期間

研究期間は、2022年4月1日から2023年3月31日までとします。

複数年にわたる申請の場合は、研究期間は3年以内とします。ただし、継続申請を毎年度提出していただき、毎年、審査を行い、採否を決定します。

#### 5. 申請期限

**2022年1月15日 期限厳守**

#### 6. 採択予定件数

25～30件

#### 7. 審査

①申請課題は、共同利用・共同研究委員会専門委員会（総合解析、太陽圏宇宙線、電磁気圏、大気陸域海洋、年代測定、航空機利用）、および共同利用・共同研究委員会の審議を経て、本研究所長が決定します。

##### 【審査の観点】

- ・公募目的に合致しているか（公募目的については、「1. 公募事項」参照）
- ・適切な研究体制であるか（海外を研究の拠点とする研究者が一名以上、研究体制に入っている必要があります）
- ・科学的な意義や重要性が認められるか
- ・具体的で実現可能な計画であるか
- ・研究分野の発展に資することが期待される計画であるか
- ・申請されている経費は妥当であるか

以上の観点に加えて、予算のバランスやコミュニティに対する共同研究のあり方も考慮いたします。また、予算配分に関しては、規模の小さな大学や研究機関などの研究者及び若手研究者に配慮します。

②審査に当たっては、必要に応じて、研究代表者から説明を聞くことがあります。

③応募件数が多数の場合には、採択された課題に対して十分な経費的サポートができるよう採択件数に配慮します。

④審査結果については、2022年3月下旬に、研究代表者あてに e-mail で通知します。

#### 8. 所要経費

①本共同研究の申請経費は、1件あたり100万円以下とします。

②共同研究に必要な経費（物件費、旅費、及び謝金）は、予算の範囲において配分額が決定されます。人件費は認められません。

③ここでいう物件費とは、設備備品費を除く消耗品費、論文投稿料、英文校閲料等です。鉛筆などの一般的な文房具の購入は御遠慮ください。

④物件費の支出に当たっては、研究代表者の所属機関（または本研究所）の経理担当者等による検収が必要となります。

⑤共同研究の旅費は、**成果報告（国際会議への参加）には使用できません。**

⑥共同研究の旅費は、原則として精算払いとなります。

#### 9. 研究報告書

本研究所は大学附置の共同利用・共同研究拠点の研究所であり、本共同研究は、共同利用・共同研究拠点として重要な役割を果たしています。年度毎に研究所のホームページ上でも公開します。また、採択された研究課題については、研究計画や研究成果を本研究所が主催する研究集会等で発表していただくようお願いいたします。本研究所共同利用・共同研究のサイトの「国際共同研究」欄から報告書作成に必要な事項の記入を行った後に、報告書の提出締め切り日までに提出手続きを完了させてください。

①「国際共同研究」の報告書（別紙様式 1-1：エクセル形式、1-2：ワード形式）を作成し、実施報告登録時にアップロードしてください。別紙様式 1-2 は、図表等を含めて A4 サイズ 1-2 枚程度になるように作成してください。提出原稿は、製本用原稿としてそのまま公開されます。

- ② 本共同研究の成果を論文として発表する場合は、当該論文の謝辞 (acknowledgements) の欄に本研究所の共同研究による旨を付記してください。次の例文を参考として挙げておきます。
- This work was carried out by the joint research program of the Institute for Space-Earth Environmental Research, Nagoya University.
  - This work was performed using the facilities of the Institute for Space-Earth Environmental Research, Nagoya University.
- ③ 本共同研究の成果に関する論文等を公表したときは、新規／継続にかかわらず速やかにその電子ファイル (PDF) を「10. 問い合わせ先」へ提出してください。
- ④ 報告書の提出期限は、2023年3月31日とします。
- ⑤ 期限までに報告書が提出されない場合、原則として翌年度の採択は取り消しとなります。

## 10. 問い合わせ先

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町  
名古屋大学研究協力部研究事業課研究事業係  
TEL:052-789-5464 FAX:052-788-6254  
e-mail : k-kyoten at\* adm.nagoya-u.ac.jp  
(at\* を@に変更してご使用ください)

## 11. 共同利用・共同研究によって生じた知的財産権の取扱い

共同利用・共同研究の実施により生じた知的財産権の取扱いは、名古屋大学共同研究規程を準用します。

学術研究・産学官連携推進本部ホームページ：

<http://www.aip.nagoya-u.ac.jp/index.html>